

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立相良高等学校

目

次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	14
学校施設の概要	15
在籍生徒調	17
入学志願者及び入学者数調	18
卒業生の動向調	19
生徒の状況	20
授業料収納状況調	21
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	23
預金調	24
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	25
委託料に関する調	26
負担金支出調	28
建築工事調	29
公有財産調	31
借地借家等調	32
事務機器等債務負担行為又は長期継続契約に係る調	33
行政財産貸付・使用許可調	34
主要備品調	35
職員調	36
職員の年齢調	38
健康管理	38

事 務 事 業 の 概 要

1 概況

(1) 学校の沿革

- 大正15. 9. 17 静岡県相良家政女学校設立認可
- 昭和 2. 3. 18 静岡県相良家政女学校組織変更認可
(予科 2 か年100名、本科 2 か年100名、研究科 1 か年50名)
- 〃 2. 4. 11 相良町公会堂仮校舎にて開校式挙行
- 〃 2. 5. 20 校舎落成移転、本校開校の日とする
- 〃 2. 12. 22 静岡県相良高等家政女学校設立認可
- 〃 3. 4. 1 開校(本科200名、専攻科50名 計 5 学級編成)
- 〃 17. 4. 18 定員増加認可(本科400名 8 学級 専攻科50名 1 学級)
- 〃 21. 3. 30 静岡県相良高等女学校と校名変更
- 〃 22. 3. 31 静岡県立相良高等女学校に昇格
- 〃 23. 4. 1 学制改革により静岡県立相良高等学校と改称
- 〃 24. 1. 15 定時制課程設置(定員40名)
- 〃 24. 12. 31 定時制課程廃止
- 〃 28. 9. 10 校舎増築落成式挙行
- 〃 33. 3. 25 体育館兼講堂完成(754㎡)
- 〃 37. 4. 1 普通科(定員450名)商業科(定員50名)併設
- 〃 38. 4. 1 普通科(定員450名)商業科(定員200名)
- 〃 38. 7. 4 第 3 校舎(鉄筋コンクリート 3 階建2, 510㎡)完成
- 〃 39. 4. 1 普通科(定員450名)商業科(定員350名)
- 〃 39. 4. 30 新校舎落成式挙行
- 〃 40. 4. 1 普通科(定員450名)商業科(定員450名)
- 〃 40. 11. 24 校地拡張(運動場用地4, 793㎡)
- 〃 41. 1. 25 6 教室増築完成(鉄筋コンクリート 3 階建549㎡)
- 〃 43. 4. 1 普通科(定員492名)商業科(定員444名)
- 〃 43. 4. 11 本館(鉄筋コンクリート 4 階建)一部完成
- 〃 44. 2. 10 校地拡張(運動場用地5, 742㎡)
- 〃 44. 4. 1 普通科(定員435名)商業科(定員482名)
- 〃 44. 4. 11 本館(鉄筋コンクリート 4 階建3, 346㎡)完成
- 〃 45. 4. 1 普通科(定員423名)商業科(定員516名)
- 〃 46. 3. 31 体育館(鉄筋 鉄骨1, 700㎡)完成
- 〃 46. 4. 1 普通科(定員414名)商業科(定員552名)
- 〃 48. 3. 31 校地拡張(運動場用地1, 169㎡)
- 〃 48. 4. 1 普通科(定員405名)商業科(定員540名)
- 〃 49. 2. 10 格技場(557㎡)完成
- 〃 49. 5. 20 商業科実習室(1, 308㎡)完成
- 〃 49. 10. 20 弓道場(60㎡)完成
- 〃 52. 9. 10 プール(7 コース25m×25m)完成
- 〃 52. 9. 17 創立50周年記念式典挙行
- 〃 56. 3. 25 自転車置場(2 階建 204㎡)完成
- 〃 57. 4. 1 普通科(定員405名)商業科(定員495名)
- 〃 57. 9. 22 自転車置場(2 階建 228. 42㎡)増築完成

昭和 57. 9. 30 第1棟耐震補強工事完成

〃 58. 4. 1 普通科(定員405名)商業科(定員495名)

〃 58. 5. 20 創立55周年記念式典挙行 盈進館完成

〃 60. 4. 1 商業科に会計コース1学級設置

〃 61. 4. 1 普通科(定員405名)商業科(定員540名)

〃 62. 5. 21 部室棟(2階建 268.75㎡)完成

〃 62.10.16 創立60周年記念式典挙行

平成 元. 1.18 文部省指定学習習熟度別指導研究発表会 (英・数・商)

〃 3. 4. 1 商業科に情報処理コース3学級設置

〃 3.12.26 体育館耐震補強工事完成

〃 5. 4. 1 普通科(定員399名)商業科(定員532名)

〃 6. 4. 1 普通科(定員390名)商業科(定員520名)

〃 7. 4. 1 普通科(定員378名)商業科(定員504名)

普通科に進学推進コース1学級 総合コース2学級設置

〃 8. 4. 1 普通科(定員369名)商業科(定員492名)

〃 9. 4. 1 普通科(定員363名)商業科(定員484名)

〃 9.12. 8 校舎(鉄筋コンクリート2棟5階建9,580㎡)完成

〃 10. 3. 23 自転車置場(鉄骨2階 757.5㎡)完成

〃 10. 3. 25 商業棟改修工事完成

〃 10. 4. 1 普通科(定員360名)商業科(定員480名)

〃 10.12. 5 創立70周年記念式典挙行

米国ケルソー高校との姉妹校提携調印

〃 10.12.25 体育教官室(鉄骨194㎡)完成、テニスコート(オムニコート4面)完成

〃 12. 4. 1 普通科(定員400名)商業科(定員480名)

〃 13. 4. 1 普通科(定員360名)商業科(定員480名)

〃 17. 4. 1 普通科(定員360名)商業科(定員440名)

〃 18. 4. 1 普通科(定員360名)商業科(定員400名)

〃 19. 4. 1 普通科(定員360名)商業科(定員360名)

〃 19.11.29 創立80周年記念式典挙行

〃 20. 4. 1 普通科(定員320名)商業科(定員360名)

〃 21. 4. 1 普通科(定員280名)商業科(定員360名)

〃 21.11.30 商業棟耐震補強工事完成

〃 22. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員360名)

〃 23. 3. 2 多目的体育館耐震補強工事完成

〃 24. 1.27 武道場・弓道場耐震補強工事完成

〃 28. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員320名)

〃 29. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員280名)

〃 29.11. 4 創立90周年記念式典挙行

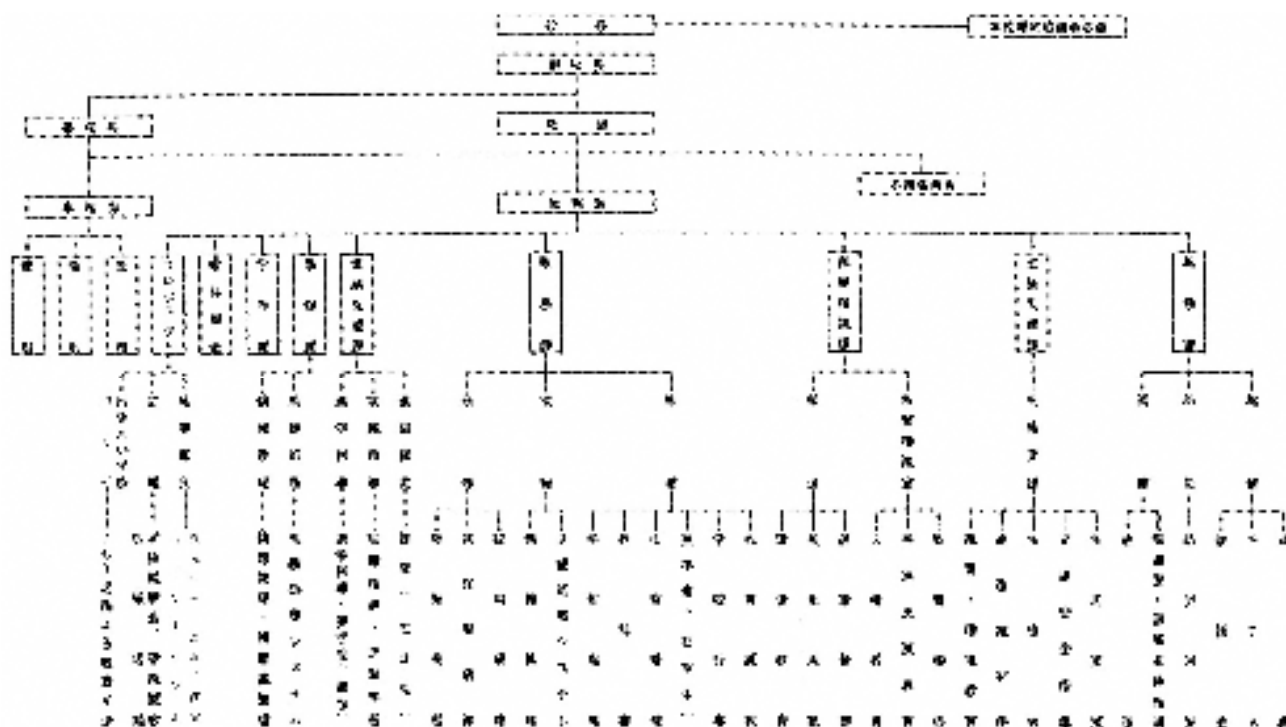
〃 30. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員240名)

令和 3. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員200名)

〃 4. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員160名)

〃 5. 4. 1 普通科(定員240名)商業科(定員120名)

(2) 組織図



各種委員会

運営委員会・学校評価委員会・行事検討委員会（修学旅行検討委員会含む）・防災委員会・教育課程検討委員会・職員交通安全委員会・生徒指導委員会・部活動顧問会・学校保健委員会・学校職員衛生委員会・学年主任会・コンプライアンス委員会・いじめ防止対策委員会

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

【育てたい生徒像】

- 自分の可能性を伸ばすために、たゆまぬ努力をする生徒
- 社会や環境の変化に適応し、たくましく生き抜いていく生徒
- 地域社会と主体的に関わり、より良い社会づくりに貢献できる生徒

【グラデュエーション・ポリシー（育てたい力）】

- ・基本的生活習慣を身に付け、自己を管理・コントロールする力
- ・学びの基礎となる知識・技能を身に付け、場面に応じて活用する力
- ・自己を取り巻く課題を見つけ、解決に向けての方法を探究する力
- ・自分自身の目標に向けて粘り強く挑戦し、行動し続ける力
- ・周囲と関わりながら他者の意見を尊重し、自らの考えを発信する力
- ・地域社会を支える一員として主体的に参画し、貢献しようとする力

【カリキュラム・ポリシー】

各科共通

- ・教科での学びと学校行事や部活動等が関連し合い、実践的な課題解決学習を中心とした探究的な学びを実施します。
- ・インターンシップ等の職業体験を充実させるとともに、進路に合わせたコースを設置するなど、生徒一人ひとりのニーズに沿った計画的な指導を実施します。

- ・HR活動や体験活動等を通して自己を見つめ、自主・自律の心を育むとともに、自らの意見や取組を発信していく機会を創ります。
- ・自治体や地元企業と積極的な連携を進め、地域活動やビジネス体験、グローバルな国際交流やスポーツ活動など生徒の新たな実践活動の場を提供します。

商業科

- ・ビジネスに関する基礎的な知識や技術を身に付け、地域課題の解決や発展に貢献していく意欲や態度の育成を図ります。
- ・マーケティングや観光ビジネスなど地元企業と連携したビジネス体験を実施するなど、地域や国内外で活躍する人材の育成を目指します。

【アドミッション・ポリシー】

- ・相良高校で新たな活動に挑戦し、自分の可能性を広げる意欲のある生徒
- ・地域社会や仲間と共に協力して、充実した学校生活を送ることを目指す生徒
- ・自分の目標や可能性を見つけ、将来の進路に向かって努力しようとする生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自律した生活習慣を確立し、他者の心情や立場を尊重することができる豊かな人間性を持った生徒を育成する。
- イ 基礎的知識や技能(技術)を習得し、積極的に活用する態度を身に付けるとともに、探究的な学びを深め、実践を伴う課題解決学習を促進する。
- ウ 進路指導体制や指導計画の充実を図り、早期からのキャリア教育を実施することで、生徒一人ひとりの進路希望を実現する。
- エ 保護者や地域等との連携や交流を通して、生徒の教育環境の充実を図るとともに、地域から信頼される学校となるための取組を推進する。
- オ 協力し合える教職員組織づくりに努め、資質向上や働き方改革を進めることにより、円滑な学校運営を遂行する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自律した生活習慣を確立し、他者の心情や立場を尊重することができる豊かな人間性を持った生徒を育成する。	規律ある生活習慣を確立している生徒80%以上	校則遵守98.5% 挨拶心掛け97.9%	A	服装について生徒各自が気を付けて生活できた。挨拶は自然に出てくるようになり、姿勢が向上した。 自分の将来に向け、どう行動するべきかと自覚を持った生徒が多かった。
		交通事故件数5件以下 自転車指導カード交付枚数100枚以下	交通ルール・マナー等の遵守 96.4%	A	交通事故はなかった。 自転車指導カードは延べ53枚交付された。ヘルメットの着用者は増えなかった。
		自己肯定できる(自尊感情が持てる)生徒70%以上	学力・技能向上の実感(業)89.3% 自分の良いところ	A	体育大会や球技大会など生徒主体で運営ができた。 学校行事を通じて、他者の良いところも

イ		上	ろを自覚77.3%		確認している。
		部活動等各種活動に熱心に取り組んだ生徒90%以上	諸活動への積極参加91.4%	A	欠席者が少なく、部活動やサークル活動に、積極的に取り組んでいる。 各部活動が活性化し、生徒の自己肯定感を高め、主体性が身についてきている。
		いじめアンケートを年3回、個人面談年3回・保護者面談年1回実施	アンケートは毎学期に計3回実施。いじめに特化した校内研修実施。	A	校内研修及び適切な生徒把握により、早期対応ができた。さらに、複雑化した事案に対応する体制を整える。
	基礎的知識や技能(技術)を習得し、学習成果を積極的に活用する態度を身に付けるとともに、探究的な学びを深め、実践を伴う課題解決学習を促進する。	週5日以上家庭学習等に取り組む生徒50%以上 スタサプの利用率80%以上	授業時間外学習への取組49.8%	B	受験勉強には積極的に取り組んでいた一方で、家庭学習習慣については課題意識を持っている。 スタサプによる課題配信は概ねできたが、十分に指導しきれていない。主体的な視聴を促す仕掛けづくりが課題である。 検定試験に向けて意欲的に取り組んだ。 健康意識を高める指導により、授業外でも意識的な体力向上、生活改善等の取組みが見られた。 長期休業中の課題は指導したが、年間を通じた課題指示が不足している。 一人一台端末を活かし、充実した指導ができた。
		主体的に探究活動に取り組んだ生徒80%以上	3学期に、1年間の成果をまとめ、全ての生徒が発表する機会を設けた。	B	1年間の成果を発表する機会が設定され、それに向けての準備ができた。さらに完成度を追求していく。
		授業改善に向けて授業を工夫した教員70%以上	授業改善を意識した教員100%	A	「行きたい学校づくり」事業や校内研修により、改善意識を高く持つことができた。生徒の学習状況の改善につなげた。
		授業や探究活動にICTを積極的に活用した生徒90%	授業への取組向上91.7%	A	「行きたい学校づくり」事業を効果的に活用し、さらにICT活用を促進したい。
		「SCH地域活動相高プロジェクト」参加生徒延べ数300人以上	地域活動への参加意欲70.7%	A	目標人数を大きく超える生徒が参加し、意欲的に活動できた。 年間参加ゼロの生徒を減らしていきたい。 地域の課題と関連付けた探究活動の充実が図られた。3年生の参加率をさらに向上させたい。

		年間読書数3冊以上 探究活動で達成感を感じた生徒80%以上	読書3冊以上 48.7% 読書への興味 45.3%	B	授業等での指導や、毎月の朝読書週間、図書館だよりの発行やPOPコンテスト等により、本への興味を養った。 蔵書の整理、除籍など、利用しやすい環境を整え、学習室として継続利用があった。 探究的な学びを実践しているが、さらに、生徒自らが問いを立て探究する力の育成を工夫していく。 多言語の本を読ませる取組みにより、多読による、多方面での効果を実現したい。
ウ	進路指導体制や指導計画の充実を図り、早期からキャリア教育を実施することで、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択していく能力を育成する。	進路目標達成のために、3年間継続的に努力できた生徒80%以上 各種検定に挑戦した生徒50%以上	進路目標達成の努力87.6%	A	ほとんどの生徒が、進路実現に向けて努力できた。 卒業が目標となる生徒もあった。 企業関係者を招聘し、進路意識を高めた。 進路実現に必要な情報収集力・資料読解力を身に付けさせたい。 授業においても、人生設計としての進路指導を行った。学力向上に役立った。 生徒が早期から主体的に行動できるように進路課主導による3年間の指導計画を、さらに充実させていく。
		本校の進路指導に満足している生徒(3年生)80%以上	進路指導満足度84.3%	A	面接や小論文対策等の個別指導に対する満足度が高い。進路課を中心に、充実した指導体制を整えていく。
		希望進路への合格率80%以上	希望進路への合格率96.7%	A	第一志望で合格する生徒がほとんどであった。
		年度内就職内定率100%	年度内就職内定率95.8%	A	第一志望で内定する生徒がほとんどであった。 未内定2名であるが、本人の事情により卒業を優先した。
エ	保護者や地域等との連携や交流をととして、生徒の教育環境の充実を図るとともに、地域から信頼される学校となるための取組を推進する。	本校の教育活動に満足している保護者80%以上 中学生に対するアンケートで、ホームページやSNSが参考になったという回答80%	学校生活満足度90.4%	A	様々な活動に、きちんと取り組んでいる様子が伺われた。 教育活動が保護者や中学生にも、よりリアルに伝わるように、動画等を活用しインスタやホームページ等の更新頻度を上げる。
		校内防災訓練3回以上 地域防災訓練参	校内防災訓練4回 防災講話1回	B	防災訓練の回数、実施方法を工夫することで、生徒の防災意識を高めた。 各種マニュアルの見直しを行った。

		加率80%以上	地域防災訓練参加率48.1% 9月の地域防災が中止となり、参加率に影響した。		地域防災訓練への参加率を高めるため、部活動に優先して参加を指導した。
		「教育相談日より」年3回以上発行 資質向上のための職員研修年2回	教育相談日より2回発行(評価時点) 教職員研修年4回実施	A	年4回の職員研修を実施した。 日頃より、悩みを持つ生徒に対応する体制づくりができています。 教育相談、養護教諭、SCが連携し、ケース会議により指導力向上を目指している。
		清掃活動を通して環境美化を意識することができた生徒80%以上 学期に1回安全点検	清掃活動への取組98.5%	A	美化委員会がよく機能し、定期的な掃除用具の交換など年間を通じて良好にできた。
		事務室は充実した教育活動が行えるように支援していると回答する教職員80% 物品の現物確認等 年1回	教職員相互の意思疎通ができています。 物品の現物確認等 1年回	A	事務室は教育活動の充実のため、様々な要望等に全面的に協力をしている。 対応も早く、円滑な関係が築けている。 スムーズに物事が進んでおり、意思疎通ができていますと実感する。 限られた予算の中で、物品購入、修繕等の教育活動に必要な支援を行った。 物品の現物確認は5月に実施した。
オ	協力し合える教職員組織づくりに努め、資質向上や働き方改革を進めることで、円滑な学校運営を実施する。	勤務時間管理システムの利用による自己管理100% 夏季休暇取得率100% 定時退勤日実施率70%	勤務時間管理システムの利用率は100% 夏季休暇取得率98.8%	B	勤務時間管理システムの利用状況は良好だが、教職員による業務量の差が激しい。業務の平準化を目指し、再度組織を見直す必要がある。 夏季休暇4日間は全ての教職員が取得したが、残り1日は部活動等の理由に取得できない教員がいた。 十分に休息をとることができた。
		やりがいをもって仕事ができたと答える教員70%	授業改善に向けて授業を工夫した100% やりがいや張り合いをもって持って仕事ができたと答えた80%	A	生徒の実態に合わせた授業改善ができた。 「行きたい学校づくり」事業の動画作成など、全教員が主体的に取組み、授業改善の意識を高く持つことができた。 ICT活用技術が向上した。 やりがいをもって取組めたと答える教員が一定数以上いる。 全ての事務職員がやりがいをもって仕事ができたと答えた。

		信頼できる先生 がいると思う生 徒70%	信頼できる先生 の存在85.0%	A	体罰・セクハラ調査による訴えはゼロで あり、保護者を含めた生徒と教員の関係 は比較的良好である。
--	--	----------------------------	---------------------	---	--

(2) 令和7年度の実組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自律した生活習慣を確立し、他者の心情や立場を尊重することができる豊かな人間性を持った生徒を育成する。	規律ある生活習慣を身に付けさせ、HR指導や個別面談等により、生徒相互の適切な人間関係作りを促す。	規律ある生活習慣を確立している生徒90%以上	生徒支援 保健相談
		交通安全指導や各講習会等により、生活安全上の課題を発見し、主体的に改善しようとする態度を育成する。	交通事故件数5件以下 自転車指導カード交付枚数100枚以下	生徒支援
		人権意識の醸成を図り、相互の信頼関係を基にしたHR活動、学校行事等の運営を行う。	自己肯定できる（自尊感情が持てる）生徒70%以上	生徒支援 保健相談
		生徒会、部活動・サークル活動等の活性化により、生徒が活躍する場面を多く設定する。	部活動等各種活動に熱心に取り組んだ生徒90%以上	生徒支援 管理職
		「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめを発生させない環境づくりと生徒指導を行う。	いじめアンケートを年3回、個人面談年3回・保護者面談年1回実施	管理職 保健相談 生徒支援
イ	基礎的知識や技能(技術)を習得し、学習成果を積極的に活用する態度を身に付けるとともに、探究的な学びを深め、実践を伴う課題解決学習を促進する。	各教科の指導により、基礎的な知識や技能(技術)を身に付けさせるとともに、適切な学習課題を提供し、家庭学習の習慣化を図る。	週5日以上授業外学習等に取り組む生徒50%以上 動画配信教材の利用率80%以上	教務 各教科 各学年
		探究活動の充実のため、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを進め、生徒が主体的に学習成果を活用しようとする態度を育成する。	主体的に探究活動に取り組んだ生徒80%以上 全生徒に発表する機会を設ける	教務 探究
		「学びの基礎診断（到達度テスト）」を実施し、基礎学力向上に活用する。	到達度テストの結果が向上した生徒50%以上	教務
		教員の相互授業見学、校内研修会を実施するとともに、学習指導要領に対応した観点別評価に基づく授業改善を進める。	授業改善に向けて授業を工夫した教員70%以上 教員授業見学 年3回以上	教務
		ICTを活用した指導を充実させ、様々な場面で生徒が主体的に学習成果を活用し、実践的に課題解決しようとする態度を育成する。	授業や探究活動にICTを積極的に活用した生徒90%	教務 情報 探究
		SCCH活動や探究的な学習をととして、地域社会と連携し、実践的・協働的に課題を解決しようとする態度を育成する。	「SCCH地域活動相高プロジェクト」参加生徒延べ数1000人以上	管理職 各学年
		読書や言語活動の充実により、他者の意見を聞き、自らの考えや意見を外部に発信する力を育成する。	年間読書数3冊以上 探究活動で達成感を感じた生徒80%以上	総務 各教科

ウ	進路指導体制や指導計画の充実を図り、早期からキャリア教育を実施することで、生徒一人ひとりが主体的に進路を選択していく能力を育成する。	多様な進路希望を実現できるよう、進路シラバスに沿って低学年から計画的に進路指導を進める。	進路目標達成のため3年間継続的に努力できた生徒80%以上 各種検定に挑戦した生徒数150人以上	進路支援 国語・英語 商業
		面接指導・小論文指導・補習・校外模試への生徒の参加を促進し、希望に沿った進路に進むための指導環境を整える。	本校の進路指導に満足している生徒(3年生)80%以上	進路支援
		生徒の実態にあった進路指導を充実させ、多様な進路希望に対応する指導を整備する。	希望進路への合格率90%以上	進路支援
		就職希望の生徒を中心に、ジョブシャドウイングに続けて、インターンシップを実施し、計画的なキャリア教育を推進する。	年度内就職内定率100%	進路支援
エ	保護者や地域等との連携や交流をとおして、生徒の教育環境の充実を図るとともに、地域から信頼される学校となるための取組を推進する。	P T Aとの連携・協力を進めるとともに、オープンスクール・学校見学会等による積極的な情報発信により、本校に対する地域の中学生や関係者の理解を深める。 S N Sによる発信の充実を図る。	本校の教育活動に満足している保護者80%以上 学校見学会4回以上 オープンスクール1回以上 S N S 投稿数150回以上	総務・教務 広報 管理職 全職員
		危機管理マニュアルを定期的に確認・修正し、実際に即した防災教育・訓練を実施する。	校内防災訓練3回以上 地域防災訓練参加率80%以上	総務
		外部有識者・機関等と連携し、教育相談を充実させることにより、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりを促進する。	「教育相談だより」年3回以上発行 資質向上のための職員研修年3回	保健相談
		安全で安心な教育環境を整えるため、清掃活動や校舎内外の安全点検を定期的に行い、不良箇所等の修理を速やかに行う。	清掃活動を通して環境美化を意識することができた生徒90%以上 学期に1回安全点検	保健相談 事務室
		教育活動を円滑に実施できるように学校経営予算を効果的に活用する。	事務室は充実した教育活動が行えるように支援していると回答する教職員80% 物品の現物確認等 年1回	事務室
オ	協力し合える教職員組織づくりに努め、資質向上や働き方改革を進めることで、円滑な学校運営を実施する。	「学校における業務改革プラン」を踏まえ、働きやすく風通しの良い職場環境作りとともに、I C Tの活用、業務の精選・合理化の実施等により多忙化解消を図る。	勤務時間管理システムの利用による自己管理100% 夏季休暇取得率100% 年次有給休暇取得10日以上 業務改善に向けて工夫した教員70%以上	全職員
		各職員が担当業務及び役割を明確に理解した上で、チームとして相互協力体制のもとで魅力ある学校づくりに努める。	やりがいをもって仕事のできた教員70%	全職員
		コンプライアンス研修や日常の意識啓発を継続し、教職員のコンプライアンスの徹底を図	信頼できる先生がいると思う生徒70%	管理職

		る。 連絡・相談・報告の徹底を図る。		
--	--	-----------------------	--	--

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
6 年度	学校規模の縮小により、部活動の統廃合が進む中、サークル活動を充実させることで、生徒の活動の機会を増やし、学校生活の満足度を高める。	部活動への参加が少ない生徒に呼びかけることで、サークル活動への参加が定着してきた。また、地域の施設や人材の活用をとおして、地域との繋がりを深めている。
	基礎学力の定着と学習習慣を身に付けさせるため、朝活動を実施。朝活動週間を設定し、朝読書やクラス独自の活動を実施するなど、朝の時間の有効活用に取り組んだ。	基礎学力と学習習慣の定着については、本校の課題となっている。授業等、その場で取り組む姿勢は見られるが、教科の宿題やスタサプの課題配信の実績からは、家庭学習はあまり定着していない。主体的な視聴を促す仕掛けづくりが課題である。
	観点別評価を踏まえ、ICTの積極活用等を含めた授業改善に取り組む。	授業改善を意識した教員100%となり、教員自ら授業デザインを見直した。また、授業への取組向上91.7%と生徒の意識も向上している。「行きたい学校づくり」事業を効果的に活用し、さらにICT活用を促進したい。
	SCH活動（地域活動相高プロジェクト）により、地域と主体的に関わり、将来の地域社会を支えていくための自覚とビジョンを持った人材の育成を目指す。	生徒は地域の伝統文化の継承やボランティア活動に、目標人数を大きく超える生徒が参加し、地域との交流をとおして地域人材との繋がりを深め、地域課題等を実感している。また、活動に参加した生徒には、「活動レポート」をC-Learningで作成させることで、探究活動や自身のキャリア形成にも生かすことのできる体制を整えるなど、SCH活動の一層の充実が図った。
	「行きたい学校づくり」推進事業の実践をとおして、基礎学力と学習習慣の定着に繋げる。	「行きたい学校づくり」推進事業の校内研修や動画作成など、全職員が主体的に取り組み、授業改善意識を高く持つことができた。生徒の学習状況の改善につなげたい。
7 年度	学校規模の縮小により、部活動の統廃合が進む中、サークル活動を活用することで、生徒の活動の機会を増やし、学校生活の満足度を高める。	部活動の統廃合に向けて、生徒対象の意識調査を行った。学校生活の満足度を高めるためには、どのような活動の機会を増やすかを検討していく。
	「行きたい学校づくり」推進事業の実践をとおして、基礎学力と学習習慣の定着に繋げる。	「行きたい学校づくり」推進事業の動画作成に向けて、全職員で取り組み始めた。動画作成とともに主体的な動画視聴に繋がる仕掛けについても検討している。また、動画作成を始めるにあたり、動画撮影機材を設営した。
	観点別評価について、学校内の共通ルールについて見直しを行う。	観点別評価については、教科を横断した意見交換を行った。今後はより精度の高い評価が行うことができるようにしていく。
	自転車による登下校時の規範意識をはじめとした、社会的なルールやマナーの定着を図る。	外部講師を招聘して各種モラル講座を実施し、生徒の更なる意識向上の推進を図る。

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	本務職員									臨時・会計年度任用職員						合計
	教育職員					行政職員			本務計	教諭（臨）	実習助手（臨）	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	臨時計	
	校長	副校長	教諭	実習助手	計	主査	主任	計								
転出者		1	5		6	1		1	7						0	7
退職者				1	1			0	1	1	1	1			3	4
退職者 （再任用）					0			0	0						0	0
転入者		1	5	1	7		1	1	8						0	8
新任者			2		2			0	2			2			2	4
新任者 （再任用）					0			0	0						0	0
差引増減	0	0	2	0	2	△1	1	0	2	△1	△1	1	0	0	△1	1

(2) 現員数

(令和7年4月1日現在)

職名 区分		本務職員										臨時・会計年度任用職員								合計	
	教育職員							行政職員			本務計	教諭 (臨)	実習助手 (臨)	A L T	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	P T A職員	小計		
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	主任											小計
男	1		1	14		1	17	1	1	1	3	20				4	1		1	6	26
女		1		8	1	2	12					12			1	6	2			9	21
計	1	1	1	22	1	3	29	1	1	1	3	32	0	0	1	10	3	0	1	15	47

※(再掲) 再任用教諭：フルタイム4人

(3) 健康管理について

ア 教職員の精神的・身体的健康の維持に努めている。

イ 定期健診(生活習慣病検診・人間ドック・指定年齢検診)を積極的に受診させるとともに、教職員の

疾病の早期発見、早期治療に努めている。また、教職員の健康相談・保健指導や、臨床心理士によるカウンセリングの紹介を全職員に行った。

ウ メンタルヘルスの保持、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、長期休暇前には、計画的な休暇取得の促進を奨励している。

	令和5年度	令和6年度
実績	学校職員衛生委員会の開催 校内安全点検を実施し、危険個所の解消、執務環境の整備に努めている。 勤務時間管理システムを適切に運用し、時間外在校等時間が一定基準を超える教職員に対して、管理職面談を実施し、健康状況の確認及び、業務量の把握を行い、業務改善に向けた指導を行っている。 夏季休暇の完全取得、隙間時間を利用した年休取得を促進し、管理職自ら年休取得日を設定し、休暇の取得しやすい職場づくりを行っている。感染症対策を継続し、身体的健康の維持に努めている。	学校職員衛生委員会の開催 校内安全点検を実施し、危険個所の解消、執務環境の整備に努めている。 管理職面談の継続により、健康状況の確認及び業務改善に向けた指導を行っている。定時退勤日、完全退勤時間、及び完全下校時刻の設定により、働き方改革への意識改革を指導している。 夏季休暇の完全取得、隙間時間を利用した年休取得を促進し、管理職が実践し、休暇の取得しやすい職場づくりを行っている。 職員規模に合わせ、職員室内の座席を適切に再編し、空き空間をカフェスペース拡張に利用し、コミュニケーションの活性化を図り、風通しの良い良好な関係性を築く。感染症対策を継続し、身体的健康の維持に努めている。

(4) 教職員の研修について

〈令和5年度〉

重点目標…授業改善のためのICTの活用

研修目的	研修内容	達成方法
ア 授業改善	- 令和5年度高等学校定期訪問 - 公立高等学校3・6年次研修 - 教育研究会商業部会授業改善研修	本校において、理科・外国語・保健体育・商業の研究授業を行い、振り返りを通じて、授業改善に活かす。
イ 個別最適な学びの実現	学習支援ツールを活用した、生徒の学力把握と課題配信の方法	スタディサプリを活用した、学力把握と、個に応じた学習課題の配信を行う

〈令和6年度〉

重点目標…発達支持的な生徒指導の充実

研修目的	研修内容	達成方法
ア 授業改善	- 令和6年度高等学校定期訪問 - 公立高等学校2・6・7・8年次研修	本校において、数学・家庭・保健体育の研究授業を行い、振り返りを通じて、授業改善に活かす。
イ 個別最適な学びの実現	動画教材等を活用した授業による学びの個別最適化の実現	行きたい学校づくり事業を中心に、3年間の計画に基づき実施する。評価は、設定した成果指標による。

6 防災対策について

(1) 大規模地震を想定した避難及び消火等訓練並びに防災教育を実施

令和6年度(実績)	令和7年度(予定)
避難訓練等	避難訓練等
6. 6. 19 津波避難訓練	7. 5. 23 津波避難訓練
6. 8. 31 総合防災訓練への参加指導	7. 8. 24 総合防災訓練への参加指導
6. 9. 19 抜き打ち避難訓練	7. 9. 抜き打ち避難訓練
6. 11. 22 火災訓練	7. 11. 4 火災訓練
6. 12. 1 地域防災訓練への参加指導	7. 11. 30 地域防災訓練への参加指導
6. 12. 20 防災講話	7. 12. 19 防災講話
7. 2. 14 抜き打ち避難訓練	8. 1. 抜き打ち避難訓練

(2) 関係機関及び近隣住民との連携

- ア 牧之原市防災会議を通じて隣接機関及び近隣住民と発災時の対応について協議した。
- イ 隣接する相良小学校の児童の避難受け入れについての協議を行なった。
- ウ 近隣住民の防災責任者と協議し夜間・休日等に発災した時も近隣住民が本校に避難できるようにした。

7 学校開放について

運動場、体育館、武道場、テニスコート等を地域住民等に開放している。

令和6年6月～令和7年5月末まで利用日数2日、利用者数40人。

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条） 学校教育法施行規則 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令 いじめ防止対策推進法（第2条、第22条） 静岡県子どもいじめ防止条例
2 学校の管理・運営 に関する こと	学校教育法（第12条、第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条 第47条の5） 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第5条、第15条、第27条） 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県立学校管理規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第3条、第4条、第5条、第6条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則

□□□□□□

学 校 施 設 の 概 要

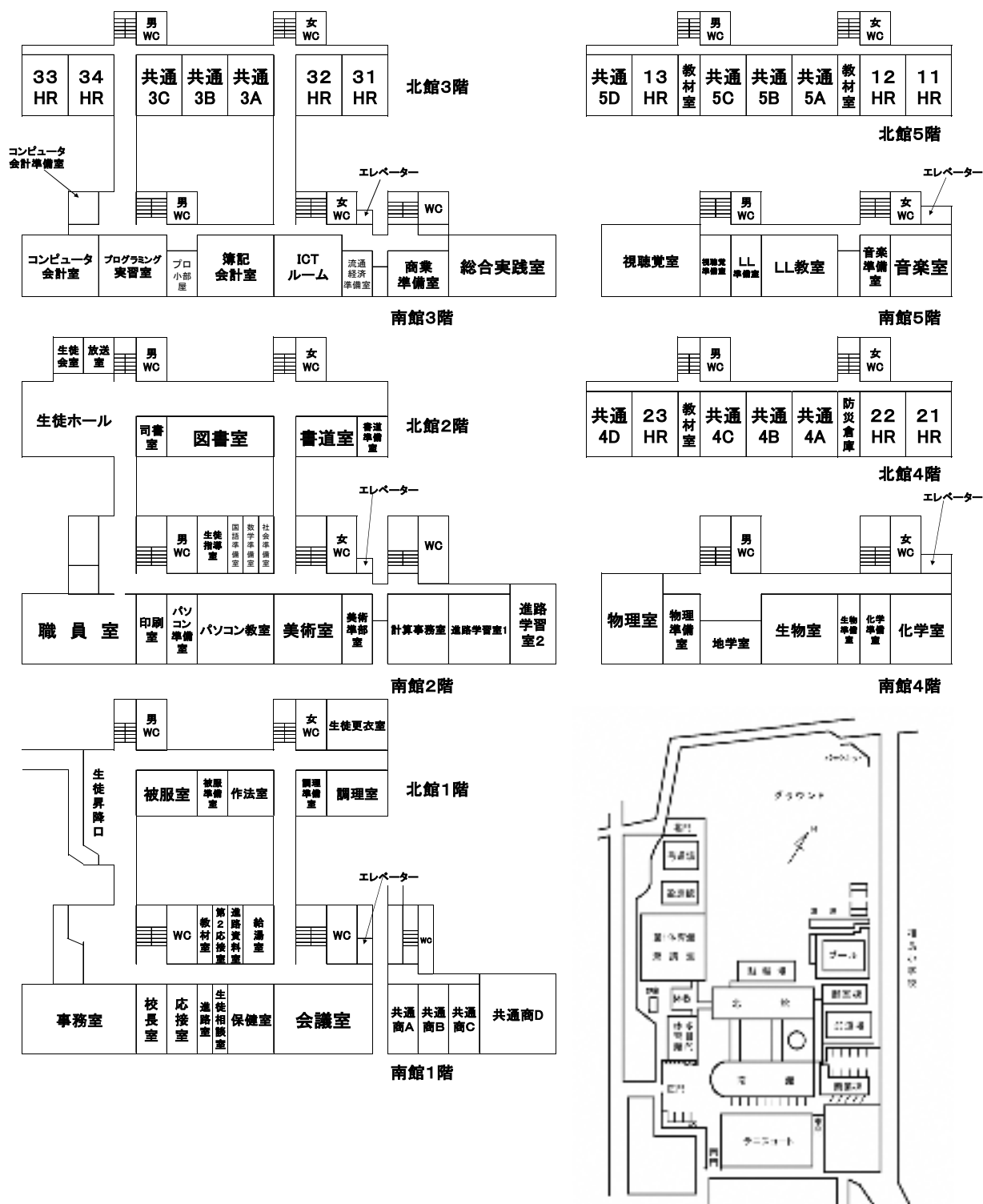
1 面積及び所有区分

(令和7年5月31日現在)

区 分		面 積	所 有 内 訳					摘 要
			県 有	国 有	市町村有	後援会有	民 有	
学 校 敷 地		m ² 36,171.00	m ² 36,171.00	m ²	m ²	m ²	m ²	
内 訳	校 舎 敷 地	20,696.00	20,696.00					
	運動場敷地	15,475.00	15,475.00					
校 舎	建	3,366.75	3,366.75					
	延	10,954.28	10,954.28					
体 育 館	建	2,341.00	2,341.00					
	延	2,226.36	2,226.36					
武 道 場	建	595.80	595.80					
	延	544.80	544.80					
その他の建物	建	1,372.61	1,220.54			152.07		部室棟
	延	1,728.11	1,446.64			281.47		
生 活 館	建	357.85				357.85		生活館兼同窓会館建設推進委員会
	延	973.66				973.66		
プ ー ル		1 個	1 個					25m×16m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林を除く）

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	36, 171. 00 m ²	10, 954. 28 m ²	15, 475. 00 m ²
県平均	45, 574. 48 m ²	9, 782. 41 m ²	22, 506. 84 m ²

□□□□□□

在 籍 生 徒 調

(令和7年5月31日現在)

学年	学科別 区分		普通科				商業科				(合計)					
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計		
1 年	入 学 者		80	48	34	82	40	18	23	41	120	66	57	123		
		増 加														
		減 少														
	現 在				48	34		82		18		23	41		66	57
2 年	入 学 者		80	47	34	81	40	21	17	38	120	68	51	119		
		増 加														
		減 少			2	2			1	1			3	3		
	2 年時当初			47	32	79			21	16		37		68	48	116
		増 加														
		減 少														
	現 在				47	32		79		21		16	37		68	48
3 年	入 学 者		80	37	31	68	40	16	19	35	120	53	50	103		
		増 加														
		減 少			1	1							1	1		
	2 年時当初			37	30	67			16	19		35		53	49	102
		増 加														
		減 少		1		1				1		1		2		2
	3 年時当初			36	30	66			15	18		33		51	48	99
		増 加														
		減 少														
	現 在				36	30		66		15		18	33		51	48
合計			240	131	96	227	120	54	57	111	360	185	153	338		

□□□□□□

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
学 科 別		普通科	商業科	普通科	商業科	普通科	商業科	普通科	商業科	普通科	商業科
生徒定員(A)		80	80	80	40	80	40	80	40	80	40
募集者数(B)		80	80	80	40	80	40	80	40	80	40
志願者数	男	31 (〇)	12 (〇)	44 (〇)	23 (〇)	37 (〇)	16 (〇)	47 (〇)	21 (〇)	52 (〇)	18 (〇)
	女	41 (〇)	21 (〇)	42 (〇)	20 (〇)	32 (〇)	19 (〇)	34 (〇)	17 (〇)	35 (〇)	23 (〇)
	計(C)	72 (〇)	33 (〇)	86 (〇)	43 (〇)	69 (〇)	35 (〇)	81 (〇)	38 (〇)	87 (〇)	41 (〇)
受検者数	男	31 (〇)	12 (〇)	42 (〇)	23 (〇)	37 (〇)	16 (〇)	47 (〇)	21 (〇)	52 (〇)	18 (〇)
	女	40 (〇)	21 (〇)	40 (〇)	19 (〇)	32 (〇)	19 (〇)	34 (〇)	17 (〇)	35 (〇)	23 (〇)
	計(D)	71 (〇)	33 (〇)	82 (〇)	42 (〇)	69 (〇)	35 (〇)	81 (〇)	38 (〇)	87 (〇)	41 (〇)
合格者数	男	31 (〇)	11 (〇)	42 (〇)	23 (〇)	37 (〇)	16 (〇)	47 (〇)	21 (〇)	48 (〇)	18 (〇)
	女	40 (〇)	21 (〇)	40 (〇)	19 (〇)	31 (〇)	19 (〇)	34 (〇)	17 (〇)	34 (〇)	23 (〇)
	計(E)	71 (〇)	32 (〇)	82 (〇)	42 (〇)	68 (〇)	35 (〇)	81 (〇)	38 (〇)	82 (〇)	41 (〇)
志 願 倍 率 (C)/(B)		0.90	0.41	1.08	1.08	0.86	0.88	1.01	0.95	1.09	1.03
受 検 倍 率 (D)/(B)		0.89	0.41	1.03	1.05	0.86	0.88	1.01	0.95	1.09	1.03
入学者数	男	31	11	42	23	37	16	47	21	48	18
	女	40	20	40	19	31	19	34	17	34	23
	計(F)	71	31	82	42	68	35	81	38	82	41
充 足 率 (F)/(A)		0.89	0.39	1.03	1.05	0.85	0.88	1.01	0.95	1.03	1.03

□□□□□□

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		普通科			商業科			(計)		
年 度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒 業 生 徒 数		54	69	80	45	31	41	99	100	121
内 訳	(進学志願者)	(37)	(47)	(61)	(15)	(7)	(12)	(52)	(54)	(73)
	進 学 者									
	大学・短大	18	21	32	1	1	1	19	22	33
	専修・各種学校等	19	26	29	14	6	11	33	32	40
	小 計	37	47	61	15	7	12	52	54	73
	就職者	17	22	19	29	23	28	46	45	47
	自営者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進学準備者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	1	1	1	1	1	1
合 計		54	69	80	45	31	41	99	100	121

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	46	40	43
求 人 数	218	226	257
求 人 倍 率	4.7	5.7	6.0

3 資格取得状況

(令和6年度)

学科別			普通科	商業科	計
卒業生徒数			80	41	121
資格の 取得状況	日本英語検定協会実用英語技能検定	準1級	1	0	1
		2級	2	0	2
		準2級	19	0	19
		3級	53	0	53
	日本漢字能力検定協会 日本漢字能力検定	2級	0	1	1
		準2級	9	2	11
		3級	32	2	34
	日商 簿記検定	2級	0	1	1
		3級	0	7	7
	全商 簿記実務検定	1級	0	0	0
		2級	0	12	12
		3級	10	19	29
	全商 ビジネス計算実務検定（電卓）	1級	0	0	0
		2級	0	2	2
		3級	0	14	14
	全商 ビジネス文書実務検定	1級	2	2	4
		2級	2	0	2
		3級	28	18	46
	全商 情報処理検定(ビジネス情報)	1級	0	0	0
		2級	0	5	5
		3級	0	0	0
	日検 情報処理技能検定（表計算）	1級	0	1	1
		準1級	0	8	8
		2級	0	2	2
合計			158	96	254

□□□□□□

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年5月31日現在) (単位:人)

市町名	牧之原市	御前崎市	吉田町	その他	計
生徒数	195	70	73	0	338
構成比%	57.7	20.7	21.6	0.0	100.0

(2) 通学方法 (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区分	自転車	自転車とバス	バス	徒歩	その他	合計
生徒数	111	75	46	29	77	338
構成比%	32.8	22.2	13.7	8.6	22.8	100.0

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		8	7		15
男子	1年	47	18	1	66
	2年	50	18	0	68
	3年	37	14	0	51
	計(A)	134	50	1	185
	構成比	72.4	27.0	0.5	100.0
女子	1年	15	41	1	57
	2年	17	31	0	48
	3年	20	27	1	48
	計(B)	52	99	2	153
	構成比	34.0	64.7	1.3	100.0
合計	(A+B)	186	149	3	338
	構成比	55.0	44.1	0.9	100.0

□□□□□□
(全日制)

授業料収納状況調

(令和6年度)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額=1,158,300円 (39人×9,900円×3月)
	5													B. 収納権利増減額 なし
	6													C. 収納必要額A+B =1,158,300円
	7	14	415,800	12	356,400	13	386,100	39	1,158,300	1,158,300	100.0	0	0	
	計	14	415,800	12	356,400	13	386,100	39	1,158,300	1,158,300	100.0	0	0	
二 期	7													A. 期首収納権利発生額 = 2,178,000円 (44人×9,900円×5月)
	8													
	9													B. 収納権利増減額 = ▲99,000円 (内訳) 10月28日:2年就学支援金認定(7月～) 1人×▲9,900円×5月=▲49,500円 11月31日:2年:転学▲1 1人×9,900×0月=0円 1月9日:3年就学支援金認定(7月～) 1人×▲9,900円×5月=▲49,500円
	10	14	693,000	14	693,000	16	792,000	44	2,178,000	2,079,000	95.5	0	99,000	
	11			▲ 1	0			▲ 1	0			99,000	0	
	12			▲ 1	▲ 49,500			▲ 1	▲ 49,500	▲ 49,500				C. 収納必要額A+B = 2,079,000円
	1													
	2					▲ 1	▲ 49,500	▲ 1	▲ 49,500	0		▲ 49,500		
	計	14	693,000	12	643,500	15	742,500	41	2,079,000	2,029,500	97.6	49,500	0	
三 期	12													A. 期首収納権利発生額 = 1,623,600円 (41人×9,900円×4月)
	1	14	554,400	12	475,200	15	594,000	41	1,623,600	1,584,000	97.6	0	39,600	B. 収納権利増減額 = 0円
	2											39,600	0	C. 収納必要額A+B = 1,623,600円
	3													
	計	14	554,400	12	475,200	15	594,000	41	1,623,600	1,584,000	97.6	39,600	0	
合計		42	1,663,200	36	1,475,100	43	1,722,600	121	4,860,900	4,771,800	98.2	89,100	0	D. 収納必要額 = 4,860,960円

□□□□□□
(全日制)

授業料収納状況調

(令和7年度) (令和7年5月31日現在)

期別	月別	調定の状況								収納の状況				異動者等の状況
		1 年		2 年		3 年		計		納期内収納額		納期後 収納額	収入未済額	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額		収納率			
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	A. 期首収納権利発生額= 1,098,900円 (1年：11人×9,900円×3月) (2年：14人×9,900円×3月) (3年：12人×9,900円×3月)
	5													B. 収納権利増減額 = 0円
	6													C. 収納必要額A+B =1,098,900円 (徴収期限 7月31日)
	7													
	計													
二 期	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
	計													
三 期	12													
	1													
	2													
	3													
	計													
合計														D. 収納必要額 = 1,098,900円

□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度 (令和 7 年 5 月 31 日 現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	135件	0 件

□□□□□□

預 金 調

(令和7年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行 相良支店	無利息型 普通預金	32694	静岡県立相良高等学校 資金前渡者校長 小塩宜浩	0	給与
静岡銀行 相良支店	無利息型 普通預金	245502	(自振口)静岡県立相良高等学校 資金前渡者校長 小塩宜浩	0	水道、電話、 社会保険料、後納郵便料
残 高 合 計				0	

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,210,000	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		1,309,880	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		458,040	
計					3,649,800	2,977,920	0
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
計					1,111,000	0	0
(16) 公有財産購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費							
計					0	0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費		35,427,400	
計					33,734,500	35,427,400	0
(21) 補償、補填及び賠償金							
計					0	0	0

□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年5月31日)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
					執行済額	左のうち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	92,785	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	39,270	
計					132,055	0
(14) 工事請負費						
計					0	0
(16) 公有財産購入費						
計					0	0
(17) 備品購入費						
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	9,500	
計					9,500	0
(21) 補償、補填及び賠償金						
計					0	0

□□□□□□

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 昇降機保守点検業務	エス・イー・シーエレベーター(株)静岡支店	円 290,400	円 198,000	円 0	円 198,000	随契	R6. 4. 1 R7. 3. 31	R6. 5. 31 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 R7. 4. 30	円 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 14,575 37,675	昇降機機械保守 24時間遠隔監視業務	随契一号 (少額)
									小計	198,000		
2	静岡県立相良高等学校外2校自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)	1,443,420	1,371,480	0	1,371,480	一般	R6. 4. 1 R7. 3. 31	R6. 6. 12 R6. 6. 28 R6. 7. 31 R6. 8. 30 R6. 9. 30 R6. 10. 31 R6. 11. 29 R6. 12. 26 R7. 1. 31 R7. 2. 28 R7. 3. 31 R7. 4. 30	114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290 114,290	自家用電気工作物保安管理	相良高校一括契約(相良高校・吉田特別支援学校)
									小計	1,371,480		
3	榛原地区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務	エイエイチ設計増田剛久	1,768,800	1,210,000	0	1,210,000	一般	R6. 10. 16 R7. 1. 31	R7. 2. 28	1,210,000	建築基準法第12条に基づく建築及び建築設備の定期点検業務及び点検結果資料作成	相良高校一括契約(吉田特別支援学校・榛原高校)
4	産業廃棄物収集運搬処理業務	㈱ハイナン	99,220	99,220	0	99,220	随契	R6. 4. 24 R6. 7. 23	24. 8. 21	99,220	産業廃棄物収集運搬処理	随契一号(少額)
5	産業廃棄物収集運搬処理業務	㈱ハイナン	99,220	99,220	0	99,220	随契	R6. 10. 30 R7. 2. 28	25. 4. 18	99,220	産業廃棄物収集運搬処理	随契一号(少額)
	事務関係計	5件								2,977,920		
	合計	5件								2,977,920		
参考1	静岡県立榛原高等学校外2校可燃物収集運搬処分業務	(有)榛原クリーンサービス		収集運搬 1,540円/回 処分 16.5円/kg	0	収集運搬 1,540円/回 処分 16.5円/kg		R6. 4. 9 R7. 3. 28			可燃物等収集運搬処理 年45回	榛原高校一括契約(相良高校・吉田特別支援学校)
参考2	静岡県立榛原高等学校外2校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検協同組合		3,564,000	0	3,564,000		R6. 4. 1 R7. 3. 31			消防用設備維持管理	榛原高校一括契約(相良高校・吉田特別支援学校)
参考3	静岡県立島田商業高等学校外6校浄化槽保守点検業務	ニッケン消毒㈱		1,463,000	0	1,463,000		R6. 4. 1 R7. 3. 31			浄化槽維持管理 2基分	島田商業高校一括契約(榛原高校・相良高校・島田工業高校・島田高校・ふじのくに国際高校・川根高校)
参考4	静岡県立島田商業高等学校外4校水泳プール浄化装置保守点検業務	清化工業㈱		220,000	0	220,000		R6. 4. 26 R6. 11. 29			水泳プール浄化装置保守点検	島田商業高校一括契約(島田高校・島田工業高校・相良高校・吉田特別支援学校)
参考5	静岡県立榛原高等学校外4校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		7,691,640	0	7,691,640		R1. 10. 1 R6. 9. 30			学校施設機械警備	R1債務 榛原高校一括契約(清流館高校・相良高校・吉田特支)
参考6	静岡県立榛原高等学校外3校警備業務	セコム(株)		5,280,000	0	5,280,000		R 6.10. 1 R11. 9. 30			学校施設機械警備	R6債務 榛原高校一括契約(相良高校・吉田特支)
	計	6件		18,218,640	0	18,218,640						

□□□□□□

委託料に関する調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約締 結方法	契約 期間	支 出 年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変 更 増減額	計						
1	(事務関係) 昇降機保守点 検業務	エス・イー・ シーエレベー ター㈱静岡支店	円 198,000	円 198,000	円 0	円 198,000	随契	R7. 4. 1 R8. 3. 31	R7. 5. 30	円 14,575	昇降機機械保守 24時間遠隔監視業務	随契一号 (少額)
									小計	14,575		
2	静岡県立相良高等 学校外2校自家用 電気工作物保安管 理業務	遠鉄アシスト株 式会社	1,489,620	1,409,760	0	1,409,760	一般	R7. 4. 1 R8. 3. 31	R7. 5. 30	117,480	自家用電気工作物保安 管理	相良高校一括契約(相良高 校・吉田特別支援学校)
									小計	117,480		
3	産業廃棄物収集運 搬処理業務	㈱ハイナン	99,220	99,220	0	99,220	随契	R7. 5. 2 R7. 9. 30			産業廃棄物収集運搬処 理	随契一号(少額)
事務関係計		3件								132,055		
合計		3件								132,055		
参 考 1	静岡県立榛原高等 学校外2校可燃物 収集運搬処分業務	(有)榛原クリ ンサービス		収集運搬 1,540円/回 処分 16.5円/kg	0	収集運搬 1,540円/回 処分 16.5円/kg		R7. 4. 8 R8. 3. 31			可燃物等収集運搬処理 年45回	榛原高校一括契約(相良高 校・吉田特別支援学校)
参 考 2	静岡県立榛原高等 学校外2校消防用 設備等保守点検業 務	静岡県消防設備 保守点検業協同 組合		3,828,000	0	3,828,000		R7. 4. 1 R8. 3. 31			消防用設備維持管理	榛原高校一括契約(相良高 校・吉田特別支援学校)
参 考 3	静岡県立島田商業 高等学校外6校浄 化槽保守点検業務	ニッケン消毒㈱		1,540,000	0	1,540,000		R7. 4. 1 R8. 3. 31			浄化槽維持管理 2基分	島田商業高校一括契約(榛 原高校・相良高校・島田高 校・島田工業高校・ふじの くに国際高校・川根高校)
参 考 4	静岡県立島田商業 高等学校外4校水 泳プール浄化装置 保守点検業務	清化工業㈱		231,000	0	231,000		R7. 4. 28 R7. 11. 28			水泳プール浄化装置保 守点検	島田商業高校一括契約(島 田高校・島田工業高校・相 良高校・吉田特別支援学 校)
参 考 5	静岡県立榛原高等 学校外3校警備業 務	セコム(株)		5,280,000	0	5,280,000		R 6.10.1 R11.9.30			学校施設機械警備	R6債務 榛原高校一括契約(相良高 校・吉田特支)
計		5件		10,879,000	0	10,879,000						

□□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負 担 金 額	支 出 年 月 日
1	第152回春季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	開催通知	第152回春季総会・研究協議会参加	円 5,500	R6.5.2
2	全国高等学校長会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長会総会・研究協議会参加	4,000	R6.5.14
3	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	静岡県高等学校長協会生徒指導専門委員会	開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加	2,000	R6.7.19
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分 303人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	8,989,200	振替日 R6.7.31
5	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会参加費	株式会社日本旅行岐阜支店	開催通知	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会参加	5,500	R6.8.16
6	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会参加費	株式会社日本旅行米子支店	開催通知	全国普通科高等学校長会総会・研究協議会参加	6,000	R6.8.30
7	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会参加費	静岡県高等学校等副校長・教頭会	開催通知	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会参加費	2,000	R6.9.30
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 296人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,592,600	振替日 R6.10.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 R7.1.9
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第3期分 296人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	11,721,600	振替日 R7.1.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	49,500	振替日 R7.3.6
計		11 件			35,427,400	

□□□□□□

負担金支出調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負担根拠	事 業 内 容	負 担 金 額	支 出 年 月 日
1	第154回春季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	開催通知	第154回春季総会・研究協議会参加	円 5,500	R7.4.25
2	全国高等学校長会総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	開催通知	全国高等学校長会総会・研究協議会参加	4,000	R7.5.14
計		2 件			9,500	

□□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
参考	教育管理費	令和6年度[第36-Z 2415-01号] 相良高等学校体育 館照明改修工事	牧之原市波津 地内	円	円	円	円
				15,323,000	14,520,000	0	14,520,000
		合 計	1件	15,323,000	14,520,000	0	14,520,000

令和 7 年度該当なし

事 調

(令和 6 年度)

契約締結方法	受注者	着手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
一般	落合電気空調株式会社	着手 R6.6.18 完成 R6.10.9	円 14,520,000	体育館照明のLED化改修	—	本庁経理分 設備課
			14,520,000			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日 現在		増		減		令和7年3月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 2,267,644		千円 0		千円 54,044		千円 2,213,600	
土 地	36,171.00 m ²	1,305,308	m ²		m ²		36,171.00 m ²	1,305,308	
立木竹	47 本	1,351	本		本		47 本	1,351	
建 物	$\frac{7,524.09}{15,172.08}$ m ²	929,521	——— m ²		——— m ²	47,907	$\frac{7,524.09}{15,172.08}$ m ²	881,614	
工作物	59 個	31,464	個		個	6,137	59 個	25,327	
公有財産に 準ずるもの		143						143	
電 話 加入権	5 件	143	件		件		5 件	143	

令和7年度中増減なし

□□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年5月31日 現在)

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所 有 者 又 は 契 約 者 氏 名	用 途
				台帳	現 況		単価	年 額			
1	土地	土地	牧之原市波津 1665-1	土地	道路	0.03㎡	—	無償	自 R2.4.1 至	牧之原市長	学校案内 柱
2	土地	土地	牧之原市波津 702-2	土地	道路	0.01㎡	—	無償	自 R2.4.1 至	牧之原市長	学校案内 柱
3	土地	土地	牧之原市波津 1674-1	土地	宅地	0.01㎡	—	無償	自 R7.4.1 至 R12.3.31	個人	学校案内 柱
	計	3 件				0.05㎡		0			
1	建物	事務所建	牧之原市波津 1700-3		R C 3 階建 ボイラー室共	建357.85㎡ 延973.66㎡	—	無償	自 R5.4.1 至 R10.3.31	静岡県立相良高等 学校生活館兼同窓 会館建設推進委員 会長	生活館
2	建物	事務所建	牧之原市波津 1700-3		鉄骨造 2 階建 渡廊下共	建152.07㎡ 延281.47㎡	—	無償	自 R6.4.1 至 R11.3.31	静岡県立相良高等 学校後援会長	部室
	計	2 件				建509.92㎡ 延1,255.13㎡		0			
1	工作物	グラウンド 北側防 球ネット	牧之原市波津 1700-3		ビニールネット H10.0m×W93.3m	1個	—	無償	自 R4.4.1 至 R9.3.31	静岡県立相良高等 学校野球部後援会 長	
2	工作物	ダッグア ウト	牧之原市波津 1700-3		軽量鉄骨 H3.5m×W6.2m×D3.616m	2個	—	無償	自 R7.4.1 至 R12.3.31	静岡県立相良高等 学校同窓会長	
3	工作物	観覧・応 援席	牧之原市波津 1700-3		鉄骨・鋼材・米松板 H2.75m×L7.71m×W2.8m H1.90m×L6.0m×W1.4m	2個	—	無償	自 R6.4.1 至 R11.3.31	静岡県立相良高等 学校野球部後援会 長	
4	工作物	カウン ト表示機	牧之原市波津 1700-3		鉄骨 H2.28m×W1.48m×D0.3m	2個	—	無償	自 R3.4.1 至 R8.3.31	静岡県立相良高等 学校野球部後援会 長	
5	工作物	グラウンド 西側・体育 館東側防球 ネット	牧之原市波津 1700-3		ビニールネット H5m×W56.27m H5m×W84.5m	2個	—	無償	自 R6.4.1 至 R11.3.31	静岡県立相良高等 学校後援会長	
6	工作物	倉庫（体 育館北・ 部室北）	牧之原市波津 1700-3		スチール製 H2.15m×W6.07m×D2.09m H2.45m×W4.50m×D2.28m	2個	—	無償	自 R6.4.1 至 R11.3.31	静岡県立相良高等 学校後援会長	
7	工作物	テニス コート照 明設備	牧之原市波津 1700-3		鋼管柱10本 水銀灯20灯	1個	—	無償	自 R6.4.1 至 R11.3.31	静岡県立相良高等 学校 P T A 会長	
8	工作物	冷暖房装 置	牧之原市波津 1700-3			1個	—	1,422,261	自 R3.7.1 至 R16.6.30	三井住友ファイナ ンス&リース株式 会社	普通教 室空調
9	工作物	冷暖房装 置	牧之原市波津 1700-3			1個	—	3,582,545	自 R6.7.1 至 R19.6.30	NTT・TCリース株 式会社静岡支店	特別教 室空調
	計	9 件				14個		5,004,806			
合 計			土 地			0.05㎡	5,004,806				
			建 物			建509.92㎡ 延1,255.13㎡					
			工作物			14個					

□□□□□□

事務機器等債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和 7 年度)
(令和 7 年 5 月 31 日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
長期継続契約	静岡県立相良高等学校外 2 校電子複写機賃貸借契約（相良高校 2 台、榛原高校 2 台、吉田特別支援学校 3 台）	電子複写機 7 台 (契約日) 令和 6 年 4 月 1 日	円 3, 234, 000	円 646, 800	円 646, 800	円 646, 800	円 646, 800	円 646, 800

□□□□□□

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区 分	種 別	所在地	地 目		数量又は面積	貸付料又は 使 用 料		貸付又は使用 許可期間	貸付又は使用許 可を受けた者の 氏 名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況						
							単価	年額			
1	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	93.30㎡	円	免除	円 自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 野球部後援会長	グラウンド北側 防球ネット敷地
2	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	742.52㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校生活 館兼同窓会館建設 推進委員長	生活館兼同窓会館 敷地
3	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	埋設（φ200） 埋設（φ450） 露出 1.675m 0.45m 6.76㎡		3,390	自 R7.4.1 至 R8.3.31	国土交通省国土 技術政策総合研 究所長	強震観測小屋敷地
4	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	4 本	1,500	6,000	自R7.4.1 至R12.3.31	中部電力㈱島田営 業所	電力供給用 電柱（1） 支線（3）敷地
5	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	2 本	1,500	3,000	自R5.4.1 至R10.3.31	西日本電信電話 ㈱静岡支店長	通信用 支柱（1） 支線（1）敷地
6	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	44.83㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 同窓会長	ダッグアウト敷地
7	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	0.52㎡		免除	自R5.4.1 至R8.3.31	牧之原市長	避難標識敷地
8	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	31.56㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 野球部後援会長	観覧・応援席敷地
9	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	0.88㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 野球部後援会長	カウント表示機敷 地
10	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	140.77㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 後援会長	グラウンド西側・ 体育館東側防球 ネット敷地
11	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	197.24㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 後援会長	部室棟及び渡り廊 下敷地
12	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	埋設（φ450） 露出 66.00m 32.68㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 P T A会長	テニスコート 照明設備敷地
13	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	6.00㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 同窓会長	校歌歌碑敷地
14	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	1.08㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	牧之原市波津区 長	消火用ホース 格納箱敷地
15	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	22.94㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 後援会長	体育館北・部室北 倉庫敷地
16	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	11.70㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 P T A会長	団体職員執務場所
	建物			SRC 5 階建	管理 教室棟	3.30㎡					
17	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	SRC 5 階建	管理 教室棟	0.24㎡		免除	自R5.4.1 至R8.3.31	牧之原市長	防災行政無線設置
18	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	3.00㎡		免除	自R7.4.1 至R12.3.31	相良高等学校 同窓会長	創立50周年記念碑 他敷地
19	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	4.00㎡		810,666	自R6.4.1 至R9.3.31	サントリービバレッ ジソリューション （株）	自動販売機敷地
20	土地	学校敷地	牧之原市 波津 1700-3	学校 敷地	学校 敷地	2.00㎡		30,000	自R6.4.1 至R9.3.31	西静岡ヤクルト販 売㈱	自動販売機敷地
		合計						853,056			

□□□□□□

主 要 備 品 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大 ・ 中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	プレゼンテーション実習装置 HP31台Z2MiniG5Workstation	毎日(年間260日) 授業、部活動	令和4年1月	19,250,000
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	情報基礎実習装置 富士通43台FMVD1504V	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成28年10月	10,368,000
3	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	総合実践実習装置 富士通43台	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成22年3月	9,975,000
4	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	情報基礎実習装置 富士通サーバ1台クライアント43台	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成20年3月	9,870,000
5	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パソコン教室用パソコン レノボ43台	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成31年3月	6,241,676
6	10-02	その他の語学用器具	LL機器 ナショナルWE-210	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成10年3月	5,103,000
7	08-02	ボート	救助艇 アキレスHB490	部活動休部のため 利活用方法検討中	平成14年3月	4,240,785
8	01-99	その他の庁用器具	視聴覚室用机・いす ペールピンク135脚	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成10年1月	3,832,500
9	01-14	エアコンディショナー	空気調和装置 ダイキン4台総合実践室	夏期(年間90日) 授業、部活動	平成11年1月	3,780,000
10	03-03	その他の視聴覚用再生機器	視聴覚機器 プロジェクタ他	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成10年1月	3,529,050
11	03-03	プロジェクター	マクセル12台 MC-AW3005J	毎日(年間260日) 授業、部活動	令和3年3月	2,805,000
12	01-14	エアコンディショナー	空気調和装置 ダイキン2台流通経済室	夏期(年間90日) 授業、部活動	平成11年1月	2,520,000
13	01-04	移動書庫	移動書庫 クマヒラハンドルスタック	毎日(年間365日) 図書保管	平成9年12月	2,520,000
14	01-14	エアコンディショナー	空気調和装置 ダイキンSHYJ140L情報1	夏期(年間90日) 授業、部活動	平成11年3月	2,089,500
15	02-01	その他の情報処理機器	校内LANサーバー一式 ネットワークサーバーCOMPAQ他	毎日(年間365日) 授業、校務管理	平成13年3月	2,017,050
16	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	AppleiPad40台 専用保管庫1台	毎日(年間260日) 授業、部活動	令和3年3月	1,904,109
17	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ YAMAHA C5E	行事(年間20日) 式典等演奏用	平成5年3月	1,565,600
18	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	AppleiPad20台 専用保管庫1台	毎日(年間260日) 授業、部活動	平成28年2月	1,457,136
19	08-02	ボート	救助艇 スズキ プレジャーモーターボート	部活動休部のため 利活用方法検討中	平成23年3月	1,370,000
20	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ YAMAHA C	行事(年間20日) 式典等演奏用	平成9年2月	1,200,000
21	10-05	生物用器具	教師用実験台 ヤガミ 電源装置付	夏期(年間90日) 授業、部活動	平成9年11月	1,116,150

□□□□□□

職 員 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	校 長	小 塩 宜 浩		□□□	□ □	□□□
2	副校長	鈴 木 貴 絵		□□□	□ □	□□□
3	教 頭	橋 本 衛	保健体育	□□□	□ □	□□□
4	事務長	水 野 勝 啓	事務総括	□□□	□ □	□□□
5	教 諭	赤 堀 真 見	外国語	□□□	□ □	□□□
6	教 諭	荒 浪 仁	地歴公民	□□□	□ □	□□□
7	教 諭	伊 藤 通 章	商業	□□□	□ □	□□□
8	教 諭	岡 和 田 朋 憲	商業	□□□	□ □	□□□
9	教 諭	勝 山 琢 都	保健体育	□□□	□ □	□□□
10	教 諭	川 嶋 安 起 夫	国語	□□□	□ □	□□□
11	教 諭	菊 地 真 志	数学	□□□	□ □	□□□
12	教 諭	金 原 遼	地歴公民	□□□	□ □	□□□
13	教 諭	齋 藤 沙 樹	国語	□□□	□ □	□□□
14	教 諭	齊 藤 詢 弥	外国語	□□□	□ □	□□□
15	教 諭	佐 藤 正 法	商業	□□□	□ □	□□□
16	教 諭	鈴 木 麻 誉	理科	□□□	□ □	□□□
17	教 諭	鈴 木 康 太	数学	□□□	□ □	□□□
18	教 諭	鈴 木 隆 聖	数学	□□□	□ □	□□□
19	教 諭	高 奥 芳 子	理科	□□□	□ □	□□□
20	教 諭	寺 尾 唯	保健体育	□□□	□ □	□□□
21	教 諭	長 谷 川 純 平	保健体育	□□□	□ □	□□□
22	教 諭	平 井 佑 佳	家庭科	□□□	□ □	□□□
23	教 諭	平 澤 裕 子	地歴公民	□□□	□ □	□□□
24	教 諭	堀 川 順 也	商業	□□□	□ □	□□□
25	教 諭	三 輪 幸 代	国語	□□□	□ □	□□□
26	教 諭	山 岡 博 子	外国語	□□□	□ □	□□□
27	養護教諭	関 根 彩 子	養護	□□□	□ □	□□□
28	実習助手	長 田 真 太	理科	□□□	□ □	□□□
29	実習助手	柴 野 明 里	商業	□□□	□ □	□□□
30	実習助手	鈴 木 有 里	商業	□□□	□ □	□□□
31	主査	橋 野 太 輔	管財	□□□	□ □	□□□
32	主任	望 月 匠	庶務	□□□	□ □	□□□
平 均 年 数					年 月 2 8	

臨時職員・会計年度任用職員・学校医等

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数 年 月	摘 要
1	ALT	アビゲイル パーンズ	外国語	□□□	□ □	□□□
2	非常勤講師	小 川 出	地歴公民	□□□	□ □	□□□
3	非常勤講師	川 村 智 子	国語	□□□	□ □	□□□
4	非常勤講師	櫻 井 恵 理	芸術（音楽）	□□□	□ □	□□□
5	非常勤講師	櫻 井 康 博	理科	□□□	□ □	□□□
6	非常勤講師	清 水 千 穂 子	芸術（書道）	□□□	□ □	□□□
7	非常勤講師	長 谷 川 明 広	数学	□□□	□ □	□□□
8	非常勤講師	増 田 日 出 男	外国語	□□□	□ □	□□□
9	非常勤講師	松 下 歩 美	商業	□□□	□ □	□□□
10	非常勤講師	薮 野 智 江	芸術（美術）	□□□	□ □	□□□
11	非常勤講師	石 田 秀	通級	□□□	□ □	□□□
12	非常勤 労務職員	植 田 ひ と み	用務	□□□	□ □	□□□
13	非常勤 労務職員	杉 山 治	用務	□□□	□ □	□□□
14	非常勤 労務職員	大 石 好 恵	用務	□□□	□ □	□□□
15	学校医	廣 瀬 尚 子	内科	□□□	□ □	□□□
16	学校医	堀 口 倫 博	内科	□□□	□ □	□□□
17	学校医	中 村 香 菜 江	耳鼻科	□□□	□ □	□□□
18	学校医	上 村 健 太 郎	眼科	□□□	□ □	□□□
19	学校歯科医	大 角 俊	歯科	□□□	□ □	□□□
20	学校歯科医	山 村 敬 彦	歯科	□□□	□ □	□□□
21	学校薬剤師	河 村 知 子	薬剤師	□□□	□ □	□□□

□□□□□□

職 員 の 年 齢 調

(令和7年5月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	1人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	10	
40歳以上50歳未満	6	
50歳以上56歳未満	2	
56歳以上61歳未満	5	
61歳以上	4	再任用職員4人含む
計	32	平均年齢 42.9歳

□□□□□□

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 31人 職員数 31人
受 診 率	100.0%
県 平 均 受 診 率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分	人 数
A 休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0人
B 1 勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 0人
B 2	要経過観察 0人
C 1 勤務をほぼ平常に行っており、症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等に制限を加える必要がある。	要 治 療 0人
C 2	要経過観察 0人
D 1	要 治 療 (6) 6人
D 2 平常の勤務でよい。	要経過観察 (14) 14人
D 3	医 療 不 要 (10) 10人
区 分 者 計	(30) 30人
未 区 分 者 数	2人
合 計	(30) 32人

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア □□□□□□ 0 人
イ □□□□□□ 2 人
ウ □□□□□□ 0 人
エ □□□□□□ 0 人